

## ムジークフェストなら第12回実行委員会議事録（要旨）

- 日 時：平成29年10月3日（火）14:00～15:05
- 場 所：ホテルサンルート奈良 桜の間
- 出席者：別紙名簿のとおり

### ●概 要

- ・開会に先立ち、荒井会長から挨拶。
- ・事務局より出席委員を紹介。実行委員会会則に基づき、代理出席も含めた出席委員数が、委員の現在数の過半数であることから、本日の実行委員会は、議事の審議に必要な定足数を満たしており、有効に成立していることを報告。
- ・配付資料の確認後、荒井会長を議長に選出。委員の異動に伴い、実行委員会会則に基づき、会長が池田委員を監事に指名。
- ・議長の司会進行に基づき、事務局から報告①、議案①について一括して説明。
- ・委員による意見交換・質疑応答後、議案①について原案どおり採決し、承認を得た。

### 【会長挨拶】

- ・ムジークフェストならは、皆様の支えでここまで成長してきた。これからも応援してもらえればと思う。
- ・来年も一段と輝くようになればと思っている。
- ・ムジークフェストはドイツ語の名前だが、奈良音楽祭のようなものになってきた気がする。

### 【事務局】

- ・資料に基づき、報告①及び議案①を説明。
  - (1) 報告① ムジークフェストなら2017 実施報告
  - (2) 議案① ムジークフェストなら2018の開催に向けて（案）→ 別紙 **報告①、議案①** に基づき、事務局から一括して説明

### 【意見交換】

（議長）

- ・今回は、スケジュールの変更と、ラ・フォル・ジュルネとの連携が大きな変更。
- ・12月県議会に補正予算を例年要求しているが、方向性について議論していただきたい。

(委員)

- ・日程の前倒しについては、気候が安定した時期なので、非常に良いと思う。
- ・「社寺を中心とした会場での無料公演」は2週目（5月14日（月）～20日（日））だけか。

(事務局)

- ・5月15日（火）～6月3日（日）の間で予定している。

(委員)

- ・日程をみて何故GWを避けたのかと思ったが、説明を聞いて、東京でやっているラ・フォル・ジュルネと連携することで、東京で出演しているアーティストを引っ張ってこれるということで、非常に良く分かったが、先方（ディレクターなど）との調整はできているのか。

(事務局)

- ・はい。

(委員)

- ・わかりました。日程の変更についてもいいと思う。私どもも、今年、東大寺の金鐘ホールで読売交響楽団によるファミリーコンサートを開催させていただいた。今回の日程変更を踏まえ、何かできることがないか検討していきたい。

(議長)

- ・ラ・フォル・ジュルネとの連携、オクトーバーフェストの開催、ムジーク・プラッツでのファミリーコンサートの3つが開催できる日程を考慮すると1ヶ月前倒しになるが、天候の心配も軽減される。

(委員)

- ・NHKの大阪の者と話をしていると、ムジークフェストの認知度が上がってきているように感じる。続けて開催している成果であると思う。また、来年は、開催期間の拡大もあり、浸透度も増すと思う。
- ・NHKでは関連団体がファミリーコンサートをしているが、来年クラシックものを奈良に持ってこれないかという動きもしており、それがうまくいけば、ムジークフェストとの連携についても調整できればと思う。
- ・ムジークフェストは、制度疲労というよりも、うまく動いていると感じている。

(議長)

- NHK 交響楽団 (N 響) がムジークフェストに来るのが夢だが、東京では東京春音楽祭が 3 月、4 月に開催されており、そちらと連携できないかとも思っているところだが、なかなか日程の接続がうまくいかない。春祭と連携して、N 響や東京芸大にも来てもらえないかと思っている。
- 定着してくると、ブランド化につながってくると思う。

(委員)

- 非常に強化されたプランだと強く思う。天候のこともあるが、ルネ・マルタンをディレクターとして活用すると、クラシックに寄ってくると思う。社寺とクラシックは非常に合い、神話性が高いものであると思っている。特にクラシックの音楽などを夜に社寺で聞くことができるかと非常にすばらしい心地よさがあると思うので、これが定着すると、他府県から奈良に来られた方にも印象深いものになり、東京で聞くより奈良で聞く方が良いということに必ずなると思う。これはすばらしい誘客になると思うし、何かお手伝いできることがあればやらせてもらう。

(議長)

- MBS がやっている、「ならピ」はこの中に入ることはできないか。

(委員)

- 会場は「やまと郡山城ホール」になると思うが、時期は森精機と調整だが、ムジークフェストの期間に含めることができれば、相乗効果が出ると思う。

(議長)

- DMG はドイツゆかりなので、ムジークフェストの中に入ってもらえると、ブランド力がさらに上がると思うので、検討して欲しい。

(委員)

- 今年のムジークフェストでは、奈良春日野国際フォーラム豊に急遽休憩所を設置された際に、外国人対応のカウンターということで、手伝いをさせてもらったが、準備期間が短かったため、事前に海外のお客様に情報を届けることができなかったが、来年は、出発前のお客様に情報発信をできればと思う。毎日どこかで何かをやっているということは、海外からの FIT (個人手配客) 向けにも非常に良い話で、長期滞在にもつながると思う。

(議長)

- ・DMOのように、海外のお客様にこれを目当てに来てもらう、メインデスティネーションになるような旅行商品造成を奈良はあまりしてこなかったが、これを機会にしてもらえたらと思う。
- ・県外県内比率の関係だが、県外から来てくれる方への便宜をどう図るか。滞在と無料公演の予約付きとなれば一つの旅行商品になるが、申込を県内、県外で分けるかというテクニカルな話にもなる。県外比率を上げると、県内での不満も出てくるが、県外や海外の方だと、宿泊をして何か所か公演を見ることができるといいう仕組みにするためには、公演の時間と移動の時間を調整して、例えば、長谷寺と金峯山寺と法隆寺を見て一日を過ごせるといいうようなことができれば、いい旅行商品になると思う。ムジークフェストの旅行商品を作ってもらえればと思う。また、宿泊は自分でとる方用などに、県外枠のようなものをつくれぬか検討して欲しい。

(委員)

- ・県内の認知度は一定程度伸びているという現状の中で、県外の方およびインバウンドの強化のためのPRが今後の課題と思う。
- ・チラシを取ってくれた方に実際に足を運んでもらうために、2次交通を含め、様々な取組を検討する必要があると思う。
- ・世界遺産社寺を会場にしたコンサートは、非日常的な空間を味わえる非常に大きな魅力になってくるので、県内だけでなく県外の方をどう動かすかというPR活動が重要になってくる。

(議長)

- ・ムジークフェストはドイツの有名なバイロイト音楽祭ほどにはまだなっていないので、滞在型の商品をつくるとしても、例えば、長谷寺、法隆寺、薬師寺を見れるということが売りになるので、どこでどれだけ公演・社寺を見れるのかというアレンジをして、JR東海の新幹線込みの商品について検討して欲しい。ビジターズビューローで検討して欲しい。
- ・全日空で沖縄ツアーを作ってもらったことが発端だが、次は香港や上海からツアーができないか。奈良マラソンでは、台湾から来ている。海外の商品で、一日奈良で社寺回りを兼ねた音楽漬けというなかたちで、ANAと相談してもらえればと思う。ビジターズビューローの仕事としてお願いしたい。

(委員)

- ・事務局からの方向性については、前年度の分析を踏まえたもので、共感する。
- ・旅行商品作りについても協力したいと思っている。
- ・県外からの誘客強化として、県外の音楽活動を積極的にしている小学生や中学生などを招

聘して発表の場を設けると、応援や親御さんが併せて来てくれるのではないかと。

- ・現在奈良県では国文祭・障文祭を開催されているが、ハンディキャップをかかえている方でも非常にクオリティの高い音楽をされている方がいるので、そういった方の披露の場を設けることができれば、色んな意味でのPR効果があると思う。

(事務局)

- ・検討いたします。

(委員)

- ・私は奈良が地元だが、ミュージックフェストはかなり地元浸透してきていると思う。他府県からのお客さんも増えてきているが、いかに地元の方に一体となって参加してもらおうかということが非常に大事だと思う。
- ・音楽はなかなか一般の方は触れる機会が少ないので、ミュージックフェストは無料公演もあるし、有料公演でも安価で見ることができ、非常にこの6年間いい取組をされてきたと思う。
- ・来年は期間も拡大するというので、非常にいい取組だと思う。
- ・地元奈良県への宣伝が中心になるが、バス車両や案内所等々で引き続き協力をしていきたいと思っている。

(議長)

- ・奈良交通には移動面で期待したい。
- ・ラ・フォル・ジュルネは1つの会場で、短い間隔でいくつも音楽を楽しめるというのが特徴であるが、奈良の場合は、社寺を移って、違う会場で公演を聞くには、演奏者を移動させるか、お客さんを移動させる必要があるが、お客さんにとっては、違う社寺で違う音楽を楽しめる方がいいと思うので、同一会場で公演をするラ・フォル・ジュルネよりはダイナミックになると思う。そこで、社寺間の移動が非常に重要になってくるので、その社寺間の移動について相談してもらえればと思う。公演時間はラ・フォル・ジュルネのように短く(45分程度)でもいいので、複数会場回れるように時間調整できればと思う。ブランド化には外から来てもらって社寺を巡ってもらう必要があるので、移動が重要。時間割と移動のアレンジを気にしてスケジュールを組んでももらえればと思う。

(委員)

- ・JR西日本では、県外PRを中心に協力をしているが、西ナビだと西日本管内で40数万部、電車&ウォークでは近畿エリアで180万部ほどの折り込みをし、車内吊りでは、近隣駅を中心にポスター張りで協力をしているところ。
- ・次年度の開催については、同じくPRの協力準備をしようと思っているが、GW明けのミュージックフェストの開催となると、GW中は天平祭もあるし、3月末には平城宮跡の歴史公

園もオープンすると伺っているので、非常に長期間に渡って奈良にスポットを当てることができていると思っている。

- ・ムジークフェストなら魅力的なコンテンツであるが、来年は、プラスアルファとして、世界遺産登録20周年ということ 키워ワードにできるのではと思う。
- ・個人的にはラ・フォル・ジュルネにも何度か行っているが、近隣ではびわ湖ホールで開催されているので、ラ・フォル・ジュルネに来られた方を引っ張ってくるような仕掛けを加えることができるとさらに良くなると思う。

(委員)

- ・車内吊りポスターなどで、県内外のお客様へPR協力をしているところであるが、来年も引き続きPRをしていきたいと思っている。
- ・1点質問だが、無料公演は定員超過をしている状態であるが、来年は受け皿として、公演数や定員を増やす取組はされる予定か。

(事務局)

- ・案段階だが、従来は1社寺1公演であったが、社寺に絞り込むことで定員も会場数も減少傾向になるので、例えば1社寺で午前と午後や13時と15時の2公演とするなど、人気の高かった社寺については、公演数を増やすことで今まで来てもらえなかった方にも来てもらえるような工夫はしていきたいと思っている。

(委員)

- ・昨年からの無料公演の申込者の増加率をみると、来年はもう少し伸びるのではないかとと思うので、楽しみにされている方が残念な思いをしないように、新たな取り組みをしていただけなのはいいことだと思う。

(議長)

- ・無料であれば、当日行かない方もおり、目減り分をどう見込むか悩ましいところでもある。
- ・音楽は有料で聴くということが定着すればいいが、ムジークフェストも音楽の質が上がってきたので、「こんな演奏にお金を取るのか」という声は少なくなってきたが、「こんな演奏を無料で聴けるのか」という声の方が大きい。
- ・また、神戸の三宮とは交通が直結しているので、神戸でのPRを強化できないかと思っている。

(委員)

- ・来年が待ち遠しくてワクワクしている。
- ・ルネ・マルタンの監修や日程の変更など、思い切った案だがいいと思う。

- ・ルネ・マルタンはフランスのナント出身ということで、知り合いの教授にナント出身の方がいるので、何かできないかと思っている。

(委員)

- ・ムジークフェストは奈良でやっているイベントということで定着してきた。首都圏でも興味を持って来られる方もいる。一方、今までは6月ということで定着してきたので、日程の変更の周知はしっかりして欲しい。
- ・ルネ・マルタンの監修で高度になるので、非常にいいことだと思う。

(議長)

- ・議案①についての採決をはかりたいと思います。議案に賛成の方の挙手をお願いします。  
(全員挙手)。
- ・今回出席いただいた方全員賛成いただいたということで、実行委員会の議決とさせていただきます。
- ・本日出た意見を踏まえて実行に移して欲しいと思う。
- ・また、少し先の話になるが、県営プール跡地に移設するNHKの天平大広間は半室内になるので、そこでのムジークフェスト、子どものコンサートなどの開催も楽しみである。

(委員)

- ・ムジークフェストの言葉は定着してきているので、この名前は継続して欲しい。
- ・お寺の立場としてであるが、無料公演に関して、質の良い音楽を社寺で行うことはいいが、来る方が音楽を楽しんで聴くためには若干のお金はいるんだというような感覚になっていってもら方が、音楽に対する思いも高まってくるのではないかと思う。
- ・ワンコイン程度でもいいが、お金が必要なんだという方向にいずれ向かっていかないかなと思っている。
- ・お寺によっては拝観料や入山料が必要なところと不要なところがあるが、無料公演であると全てが無料になると思っているお客さんもいる。音楽そのものを楽しむためには少しでもお金がいるという方向性についても検討してもらえればと思う。

(議長)

- ・資料の中の②に「無料公演」という言葉があるが、「無料」という言葉はとった方がいい。
- ・また、会場料をどのようにするか、なるべく標準化するように検討できないか。

(事務局)

- ・本日はありがとうございました。いただいた意見を踏まえて12月に予定している実行委員会で再度提示させていただければと思う。

- ・ 1点補足だが、来年度、ラ・フォル・ジュルネという名前は特に出す予定はない。ラ・フォル・ジュルネを監修しているルネ・マルタンを活用し、上質な音楽を提供するという  
ことでもよろしくお願いします。